

牧野理子さん (自然科学研究科生命・食料科学専攻 博士後期課程 1 年 (当時))
が第 97 回日本生化学会大会において若手優秀発表賞を受賞しました。

令和 6 年 11 月 6 日から 11 月 9 日にかけてパシフィコ横浜ノースにて開催された第 97 回
日本生化学会大会において、自然科学研究科生命・食料科学専攻基礎生命科学コース 博士
後期課程 1 年 (当時) の牧野理子さんが口頭発表にて若手優秀発表賞を受賞しました。

発表題目：ヒト尿中糖鎖疾患バイオマーカーの探索に向けた、*N*-結合型糖鎖調製法の改良
と異性体を区別できる糖鎖データベースの作成

体内の環境変化を鋭敏に反映するため早期疾患の発見ができると注目されている「糖鎖」に
ついて、簡便で高精度な実験法とデータ解析法の確立に取り組みました。複数の実験法の収
量や副生成物の存在比を数値的に解析し、改良を加えました。さらに、データ解析を簡便化
するためのデータベース作成にも取り組み、健康なヒトの尿に含まれる 600 種類以上の糖
鎖構造を構造推定しました。

指導教員：自然科学系 (理学部) 長束俊治 教授

学会 HP : <https://aeplan.jp/jbs2024/>